一般質問

令和２年３月５日、６日の２日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

公共図書館及び学校図書室の司書の配置等について

令和みらい　小倉拓

質問▼市立図書館の司書の配置状況と今後の計画を問う。

答弁▼正職員2名、嘱託職員3名、臨時職員2名の計7名の配置のうち3名が司書として勤務。今後の計画は、議会で行っている連合審査会の結果を踏まえて検討する。

質問▼学校図書室の活用状況、司書教諭の配置状況を問う。

答弁▼日常活用の他、読書イベント等を実施。司書教諭は小学に3名、中学に1名配置。

質問▼市立図書館と学校図書館の連携について問う。

答弁▼各種事業を通じた読書活動推進の他、学習活動支援の為の相互連携を行っている。

質問▼図書館建替の際の費用負担抑制の為、学校図書室を含め、「図書貸し出し事業」の充実を図るべきと考えるが。

答弁▼図書貸し出し事業の周知を広く行っているわけではない。今後、必要があれば、貸出対象団体を広げていく。

●その他の質問

公園のあり方について

DV対策とシェルターについて

「こども公園」についても質問しました

伊達百五十年事業について

無会派　寺島徹

質問▼1、伊達150年事業について①花火ショーの販売金額と総入場者数を伺う。②ギネス世界記録に挑戦事業の位置づけについて伺う。③伊達大滝ロングトレイルコース開設事業の今後の事業展開を伺う。④パステル作成と配布について伺う。

答弁▼①売上金額は、約2900万円、入場者数は、総数3千余名である。②参加児童にとり貴重な体験であり、ふるさと伊達について考える良い機会となったと思う。③伊達市観光協会への事業継承を進めており、看板設置等のコース整備を含め同協会で検討を進めて行く。④パステル作成が非常に困難で当初考えていたほどの原料抽出ができなかったため6年生のみへの卒業記念品として配布したい。

質問▼2、伊達150年記念事業の全てを何らかの形で記録しておく必要があると思うがまだ予算措置はしていない。どの様に考えているか伺う。

答弁▼記念事業の記録については、どんな手法があるかを検討し、後世に残したい。

●その他の質問

伊達市におけるペーパーレス化について。

伊達150年記念式典ポスター

伊達市の墓地、国営緊急農地再編整備事業について

令和みらい　田中秀幸

質問▼市営墓地の現状について問う。

答弁▼平成28年度から平成30年度の3年間で墓地の申込数は29件、返還数は44件となっている。

質問▼お墓の需要に変化がでているのか問う。

答弁▼近年は返還数が申込数を上回る。返還理由の大半に後継者の問題など維持管理が難しいことが挙げられる。合同墓などの需要が高まっていることも認識しており、市内の宗教法人と協議しながら、どのように整備できるかなどを検討したい。

質問▼国営緊急農地再編整備事業の進捗状況と将来の展望を問う。

答弁▼令和3年度の事業採択に向け、地区説明会や換地勉強会を開催し、地元の合意形成の取組を進めている。また、農地の大区画化などの基盤整備を契機とし、農地集積を進めるとともに、農作業の共同化、受託体制の確立、ICTなどの先端技術の導入を図ることで稼ぐ農業の確立を目指す。

●その他の質問

市政執行方針について

小区画なほ場

家族死亡後の手続き負担緩和について

公明党
渡辺雅子（わたなべまさこ）

質問▼遺族は悲嘆する間もなく行政手続きなど多くの手続を余儀なくされている。少しでも負担を軽くするためにも解りやすい「おくやみハンドブック」も含め手続きの一元化の有無を問う。

答弁▼本市の窓口業務については、行政改革の一環として見直しを検討する。その中で「おくやみコーナー」の設置についても整理していく。

質問▼空き家を利用する時の「空き家改修補助金制度」や今後の空き家対策を問う。

答弁▼空き家バンクや不動産業者とも連携を取りしっかり取り組んで行く。今後も期間を決めて補助金制度の申請に行く。市のホームページや直接窓口に相談して頂き、空き家対策につなげて行く。

質問▼本市で新型コロナウイルス肺炎罹患者が出た時の対応と情報の周知について問う。

答弁▼感染かと不安に思わずかかりつけ医や室蘭に設置された帰国者・接触者相談センターに相談する。一早い情報は市のホームページ等活用。

出来るといいな、手続きの一元化

30代までの女性　転入超過に

無会派
吉野英雄（よしのひでお）

質問▼第2期人口ビジョン・総合戦略での伊達市の特徴とその課題への対応策は。

答弁▼毎年、道に要望しているが、この度の事業活用を道と調整していきたい。

答弁▼20代後半から30代までの女性の転入超過が顕著だ。
受け入れ態勢の整備や教育子どもを産み育てる環境整備が必要と考える。

質問▼総合戦略にSDGsが位置付けられたが、どう取り組んでいくのか。

答弁▼持続可能な社会形成に向けた目標を認識することで、取組みがSDGsにどう反映されるのか考えるきっかけとしたい。

質問▼河川管理計画を策定した場合、河川の浚渫（しゅんせつ）経費を国が見ることで5千億円が計上された。活用の考えは。

日本のSDGs達成度　162か国中15位

自民クラブ

有珠地区の振興について

岩村和則

質問▼まなびの里の宿泊研修施設の要望が多いが、検討委員会の設置やプロポーザル方式にて委託可能な業者を募れないか問う。

答弁▼現在の所、市が主体となって検討する考えはありませんが、地域へもたらされる経済効果や持続性を考慮すると、地域での活用策を検討して頂き協議していきたいと考えている。

質問▼有珠の観光振興に対する将来的な展望や課題について問う。

答弁▼海水浴客はレジャーの多様化に伴い一定の需要はあるものの、大幅な伸びは見込めないと思われる。

キャンプ場周辺のトイレや将来的な周辺環境整備は今後、地域住民も交え協議していきたい。

善光寺の歴史的建物や景観を利用しながら考え、有珠地区の観光は大きな宿題であり、地元の人の熱意が伝われば、財政を乗り越えてでもやりたい。その為には地元の人が今一つ頑張って頂ければ役所も勇気を持って振興を進めていけるのではないかと考えているところである。

観光振興は地域力が鍵を握る時代

令和みらい

令和2年度「市政執行方針」等について

辻浦義浩

質問▼「新規就農者受入推進事業」について。

答弁▼新規就農者が集まるフェアへ参加し関係機関と連携している。生産者が減少しており、積極的に取り組む。

質問▼「漁業の振興」について。

答弁▼経営強化を図る漁業者へは、整備資金の利子補給をする。ホタテ貝へい死対策として、北海道や関係機関へ引き続き要望していく。

質問▼「チャレンジショップ支援事業」について。

答弁▼「地域貢献型チャレンジショップ支援事業」と名称変更し商工会議所などへの加入を条件に加えることにした。

質問▼「がん対策の現状」について。

答弁▼がんに対する正しい知識の普及や予防には広報紙やホームページによる周知に加え、小中学校や自治会などへ健康教育を行っている。がん検診については、ハガキによる受診勧奨や休日や夜間の検診を行っている。

●その他の質問

ICT教育について。

新規就農研修施設

交通安全対策について

令和みらい　荒井秀樹

質問▼伊達市交通安全実施計画に具体的な対策を盛り込む考えはあるか。

答弁▼令和2年度から始まる第11次伊達市交通安全計画ではそれらも含めて検討する。

質問▼小学生、中学生の通学路の安全確保について問う。

答弁▼22名の交通安全指導員による登下校時の指導、1名のスクールガードリーダーによる巡回指導を実施している。

質問▼自動車運転者への啓発活動について問う。

答弁▼市広報車による早朝啓発活動を実施。伊達警察署、伊達自動車学校や伊達市交通安全協会等と連携して活動を継続していく。

質問▼高齢者への対応について問う。

答弁▼老人クラブの出前講座の機会を利用した啓発活動や、夜光反射材を配布するなどの対応をしている。移動支援については、伊達商工会議所と連携し、愛のりタクシーの利用促進。今後はスクールバスが増えるので、連携した運用ができるか検討していく。

伊達市が設置している通学路にある看板

だて歴史文化ミュージアムについて

公明党　大光力

質問▼特別展等の成果について問う。

答弁▼特別展5回、企画展4回の開催で2万5319人の来場者となっている。

市内外から多くの方に足を運んでもらい、本市の歴史や文化、芸術に関心を持っていただけたと思う。

質問▼1階部分の活用方法について問う。

答弁▼講演会やワークショップ、体験学習の場として使用するとともに、展示会場としても活用していく。

また、書籍や子ども向けの教材等を設置してあるので、子どもから大人まで気軽に立ち寄ってもらえる空間として一層の利用充実を図っていく。

質問▼ウポポイとの連携について問う。

答弁▼ウポポイの担当職員と今後の連携について協議している。

ウポポイとの違いを理解してもらうために本市独自のアイヌ文化をどのような形で発信するのかが今後の課題と考えている。

だて歴史文化ミュージアム

無会派

洞口雅章（ほらぐちまさゆき）

市史続編の編纂（へんさん）と市民活動支援について

質問▼伊達市史続編の編纂方針と昭和48年発刊の伊達小史改訂版発刊について問う。

また、編纂過程で収集した資料及び当市の歴史・文化・行政資料の保管と活用について問う。

答弁▼市史続編の編纂は市制施行50周年を迎える令和４年度に向けて進める。これまで編纂委員は行政職員が多数を占めたが市民委員を増やすように努める。

資料等は図書館・ミュージアム等に分散しているが、一括保管・管理を検討する。伊達小史改訂版に関しては確約できないが市史編纂後に発刊できるよう努力をする。

質問▼市民活動支援事業が令和２年度より民間委託されるが今後の取組を問う。

答弁▼市民活動支援や西いぶり圏域への移住窓口を伊達観光物産公社に移管するが、現在と同様に引き続き市民活動支援を実施していく。

市民活動センターの指定管理者となる伊達市社会福祉協議会には市民活動及び地域福祉活動の振興に寄与するよう適切に助言をしていく。

簡潔に伊達の歴史をまとめた伊達小史

topic 1

第１回　臨　時　会

★第１回臨時会　令和２年１月28日㈫

● 専決処分の承認を求めることについて
・令和元年度伊達市一般会計補正予算（第６号）

● 令和元年度伊達市一般会計補正予算（第７号）

● 専決処分の報告について
・損害賠償の額の決定及びこれに係る和解について

これらについて、議決した。